

第14回経塚公園利活用連絡会（準備活動）開催結果について

1. 日時 2025年8月14日（木）19:00～21:00
2. 場所 浦添市役所 601 会議室
3. 参加者等 会場参加：18名
浦添市、UR都市機構 沖縄まちづくり支援事務所

第14回経塚公園利活用連絡会（準備活動）を開催しました。今回も多くの方々にご参加いただき、初めての方にも多数お越しいただきました。

連絡会では、昨年度に引き続き公園での実施を希望されている「地域防災イベント」や「子むすびの森保育園さんの（地域と一緒に楽しむ）祭り」のご提案をはじめ、参加者の皆様からさまざまなアイデアが寄せられました。これらのアイデアから一つでも二つでも実際の主体立ちあがり、形となっていく事を願っています。

また、今回参加されなかった方も、もし関心のあるアイデアなどがありましたら、是非浦添市美らまち推進課へご連絡をください。

◆浦添市 美らまち推進課 平古場 祐樹 課長 <挨拶>

経塚公園では、Park-PFIの手法を用いて官民連携を進めており、段階的に供用を開始していく予定となっています。公園利活用連絡会は、協力関係を築いたり、応援したり、公園のルールや活用方法を考えたりする情報交換の場です。本日は、今後経塚公園がますます多くの方に使われるような意見交換を行い、皆さんにとって有意義な時間となることを願っています。



◆浦添市 美らまち推進課 上地いくみ技師

<経塚公園の整備>

- ・平成30年度から令和2年度にかけて、地域住民や事業者等を対象とした市民協働部会での対話を通し、令和3年7月に今後の経塚公園の指針となる「経塚公園まちづくり計画」を策定し、そのなかで経塚公園の方向性を『地域の健康づくりや市民の健康増進に資する「ヘルシーパーク」』と決定。



<整備スケジュール>

- ・ 緑破線：Park-PFI 事業にて整備予定。
- ・ 青破線：市が整備予定。
- ・ P-PFI 整備を鑑みて、令和 7 年度以降順次整備予定である。



<イベント可能区域>

- ・ 赤ライン：経塚公園区域
- ・ 青ライン：P-PFI にて整備される区域
- ・ 緑ライン：現在のイベント可能区域



<P-PFI について>

- ・ P-PFI とは、飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する「公募設置管理制度」のこと。
- ・ 事業予定者は、医療法人社団オレンジ。カフェ、ジム、集会場、トイレ、芝生広場、駐車場、散策路が事業予定者によって整備される。

<公園利活用連絡会について>

- ・ 公園利活用連絡会には、自治会、地域の方々、その他公園利用者など、様々な方が参加している。
- ・ 公園を使いたい方が自由に活動提案を行い、仲間の募集や活動の連携ができる、地域の皆さんとの共創を推進する場。アイデア段階のものなども発表いただくことできる。
- ・ 連絡会を円滑に進めるためのルールも設けている。(イベントガイドライン参照)

<イベント等での利用について>

- ・ 各種申請などは実施者が行う。
- ・ 公園では、散歩したりなので「自由利用」と一次的に独占的に使用する「一次利用（許可が必要）」がある。
- ・ 10 項目が公園で禁止されている。

<今年度の公園利活用連絡会、社会実験イベントの予定>

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
①公園利活用 連絡会	第14回 14(木)開催		第15回 開催予定			
②社会実験 イベント				防災 イベント	保育園 イベント	

※上記は日程が変更になる場合がある。

※イベントなどの企画があれば、ご提案を受け付けている。

<質問>

- ・配布資料に書かれている「地域ブランド」について教えてほしい。
 - ➔経塚公園は「ヘルシーパーク」という方向性が示されており、また周辺には医療関係や福祉法人などが集積している。その地域ブランドを意識してほしい、という意味合いで記載されている。
- ・Park-PFI 事業者との進捗を教えてほしい。
 - ➔昨今の情勢に伴い、建設費についての調整を行っている段階である。
- ・経塚公園真ん中の小山の部分はどのように整備されるのか。
 - ➔小山の形は残り、裏側に整備予定の駐車場へ行けるような園路を整備予定である。
- ・配布資料に書かれているイベント実施の際の「地域への挨拶」はどの程度の範囲か。
 - ➔厳密に決められているわけではない。迷惑がかかったり影響がありそうなところへの事前の声掛けを行っていただきたい。対面でのあいさつができればよいが、時間がかかるので、チラシ配布などで良いと考えている。

◆意見交換会

(1) 過去の社会実験イベントの紹介

(2) WAKIMIZU 「(仮称) 地域防災」

- ・昨年は1月に「地域防災」のイベントを実施した。防災に関するレクチャー、炊き出し(食用できる草や缶詰など)、レインコート作り、手話ダンス、かまどベンチ、浦添市による防災マップや公園行政に関する展示、キッチンカー、消防車が来て消火体験や蘇生体験を実施。
- ・今年度は、昨年よりは暖かい時期(11月ごろ)での実施を考えている。

- ・「防災」というテーマだが、ワークショップなど、色々な方に関わっていただきたい。
- ・昨年アルツハイマーデー（9月21日）にイベントを実施したが、高齢者が対象のため、暑い時期の開催は難しいと判断し、今年度は別日に実施することとなった。まだ計画が立てられていないが、今年も実施予定である。

（3）子むすびの森保育園「(仮称) 保育園まつり」

- ・昨年度は保育園のまつりを、地域も参加いただけるようなイベントとして開催した。
- ・昨年は夏の時期に実施し、熱中症の対策などに追われた。今年度は、冬のクリスマス会やお遊戯会のようなイメージで、12月27日に実施することとした。キャンドルナイトとして夕方に実施予定である。
- ・昨年は公園利活用連絡会の様々な協力を得て実施することができた。保護者からも喜びの声が上がった。昨年同様、ワークショップや出店者としても協力を願いたい。

（4）その他のアイデア、ご意見

<ファシリテーターからのコメント>

- ・公園活用など、市が全てを決めるのではなく、活用したい方が自主的に活動したり、地域と合意形成を取ってルールをきめたりできるようになると良いと考えている。
- ・ルール作りなども自分たちも参画しながらやっていけるが、地域との合意形成は必要である。（特に経塚公園は住宅街の中にあるため）
- ・現在は公園利活用連絡会も浦添市が事務局となって実施しているが、いずれは、P-PFI事業者が事務局となったり、指定管理者、連絡会参加者などで協力関係を築き、自主的に実施体制などができればよいと考えている。
- ・公園での企画や協力者募集、アイデアがあるので仲間募集、などの発言をいただきたい。

○1:野外映画会

- ・サイレントシアター（大スクリーンを用意して、携帯などで音を聴く）。外に音が漏れないので、近所迷惑にもならない。

○2:健康アクティビティ

- ・ツボ押し、協力できるような内容があれば協力したい。
- ・ディスコダンス（フィットネス協会の正式なプログラム）

○3:リサイクル

- ・使わなくなった絵の具や書道道具の再利用（フリマなど）
- ・木屑などの活用、ものづくり
- ・子ども向けに桑の枝の活用（鉛筆など）

- ・子どもの絵本や服のリサイクル

○4:ペットとの触れ合い

- ・動物と触れ合える機会、ペット連れのイベントなど

○5:植物や昆虫、動物保護

- ・生き物の聖地化
- ・食べる野生植物（防災食にもなる）
- ・仲間地区（ホタル、かになど）

○6:地域を結ぶ、まち歩き

- ・生物多様性のエコロジカルネットワーク、マップづくり

○7:外国人との交流

- ・1月にニューイヤーパーティを開催（浦添市国際交流協会）
- ・ピクニックなど

○8:アルツハイマーデー、認知症患者支援

○その他

- ・仲間作りができれば良い。イベント実施したいので、出展者等を募集している。
- ・屋外の天候を考えて11月～4月頃までの実施が良い
- ・交流会などをして、アイデアを出し合うなどしたらよい。
- ・イベントのボランティアなど可能
- ・小学校PTA38周年イベントの協力をお願いしたい
- ・桑を活用した子ども向け企画をしたい
- ・県の健康産業協議会とスポーツツーリズムとの連携などしたい

◆地域のイベント告知

「お好み焼きを作ろう（8/24）」の告知 浦添市国際交流協会

◆公園でイベントなどを実施したい方に向けてのセミナー等支援

一般社団法人スポーツツーリズム沖縄 喜久里 忍氏

- ・市民マラソンは、公園活用の取組の参考になる。
- ・イベント実施後の経済効果を考えることも重要。
- ・市民マラソンは、前金制度（収支マネジメントしやすい）

- ・自治体との連携、小さく始められる、事例が多い
- ・自治体連携のために、自治体主体の活用できる仕組みを理解すると良い
- ・イベント内外の利害関係者の把握や調整が重要
- ・県民性をふまえたイベントの作り方も大切
- ・補助金、助成金情報など

以 上